

## 令和 8 年度 第1回伊予市ブランド認定審査会 議事録

日 時	令和 8 年5月20 日(水)午後2時00分～午後2時45分
場 所	伊予市役所 2階 会議室1
出席者	会長・松本 直樹、副会長・武内 英治 委員・弘田 智美、中村 香織、友澤 千代
欠席者	北岡 正壽
事務局	【商工観光課】 部長・向井 功征、課長・久保 貴比古、主査・河野 元広
内 容	<p>&lt;次第&gt;</p> <p>開会</p> <p>1 令和7年度「ますます、いよし。ブランド」認定事業の実績報告について</p> <p>2 令和8年度「ますます、いよし。ブランド」認定事業(案)について</p> <p style="padding-left: 20px;">(1)令和8年度ブランド認定品の募集等について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2)審査基準について</p> <p style="padding-left: 20px;">(3)認定までのスケジュールについて</p> <p>3 その他</p> <p style="padding-left: 20px;">(1)商工観光課・観光協会・観光物産協会(ソレイヨ)との連携について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2)第2回伊予市ブランド認定審査会の日程について</p> <p>閉会</p>

～開会～

【事務局】

定刻になりましたので、ただいまより「令和8年度 第1回 伊予市ブランド認定審査会」を開催いたします。

本日はお忙しい中、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。

それでは、会に先立ちまして、企画振興部 部長 向井よりごあいさつ申し上げます。

【企画振興部長】

開会に際しまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は御多用の中、第1回伊予市ブランド認定審査会に御出席を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本市では例年 DCM 株式会社様のお力添えを得て、特産品フェアを開催するなど、伊予市の魅力あるブランド認定品の PR に努めてまいりました。また、東京港区でのフェアも実施し、前年度を上回る売上を記録し、ブランド認定品の認知度向上とともに関係人口の創出を図ってきたところでございます。今後も、様々な機会を捉え、伊予市の魅力を内外に広く PR し続けることで、地域ブランドの確立と地域活性化を実現できるものと確信しております。

この伊予市ブランド認定事業は、今年度から担当課が地域創生課から商工観光課になりました。委員の皆様におかれましては、これまで同様に御支援、御協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

最後に、本日の審査会では活発な意見交換が行われ、より良い伊予市ブランドの認定に御尽力いただきますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、開会に当たっての御挨拶とさせていただきます。

【事務局】

当審査会の委員任期は令和9年3月31日までとなっております。会長、副会長につきましても、引き続き会長松本様、副会長武内様をお願いさせていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

なお、本日の審査会は、委員1名が欠席となっておりますが、半数以上の出席を頂いておりますので、伊予市ブランド認定審査会条例第 6 条第 2 項により、開催要件を満たしておりますことをご報告いたします。

また、傍聴要領に基づき市のホームページにて審査会の開催告知を行いました。指定の期日までに傍聴希望者がいなかったことをあわせてご報告いたします。審議に入ります前に、まず、お手元の資料の確認をお願いいたします。お手元には、・次第・会議資料・2025年度ブランド認定品パンフレット(電子版写)・2025年度ブランド認定品チラシ・ブランド審査会条例・2026 年ブランド品募集チラシ(案)・第2回審査会日程調整表、以上、おそろいでしょうか。

それでは、今年度、最初の審査会ですので、委員のみなさまに簡単な自己紹介をお願いしたいと思います。松本会長よりお願いいたします。

【会長】

松山短期大学の松本と申します。

2年前に松大の経済学部から短大(松山短期大学)の方に移りました。

またこうしてお仕事をさせていただけるということで、大変ありがたい機会だと思っております。私はこの伊予市のブランド認定事業と「iProject!」の方でもお付き合いさせていただいているんですけど、今後とも末永く関わらせていただければ幸いです。

短大の方で地域マネジメント学科を新設することになりました。地域の関わりがますます高まると思っております。OGの方やOBの方も短大ってあったんだと思われているかもしれま

せんが、存在感を強めていきたいと思います。地域の取組みを色々と進めたいと思っており  
ますし、武内社長にも協定づくりについて1年半程前にご協力をいただいて卒業生を受け入  
れていただけたというご配慮もごございますので、皆様今後とも引き続きよろしくお願いいたし  
ます。

【委員】

山陽物産で代表取締役を務めております武内といいます。  
伊予商工会議所の副会頭という立場で参加させていただいております。  
よろしくお願いします。

【委員】

双海中山商工会女性部の監事をしております弘田と申します。  
ブランド認定品の協議会とても楽しく参加させていただいております。  
よろしくお願いいたします。

【委員】

伊予市食生活改善推進協議会の会長をしています友澤です。  
昨年は伊予市 20 周年記念事業として、栄養学の創始者「佐伯矩」博士の関係で、大根を  
使ったレシピ作りに協力させていただきました。伊予市には魅力あるブランド品がたくさんあ  
るんですけど、まだ知られていない物が多いような気がします。もう少し知っていただくため  
にも、私自身ももっと勉強していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【委員】

DCM ホールディングスの中村と申します。よろしくお願いいたします。  
私は昨年から参加させていただいてるんですけど、ブランド認定授与式や物産展を弊社の  
DCM の方で実施をしていますので、そういったところも含めて、また今年もご協力できたら  
と思っておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。

【事務局】

皆様ありがとうございました。事務局のご紹介をいたします。  
企画振興部部長の向井でございます。

【企画振興部長】

よろしくお願いいたします。

【事務局】

つづきまして、商工観光課長の久保でございます。

【課長】

よろしくお願いいたします。

【事務局】

そして、私が担当の河野と申します。  
不慣れな点が色々ございますが、しっかりと伊予市のブランド品のPRをしていきたいと  
思っていますので、皆様どうかよろしくお願いいたします。  
それでは、伊予市ブランド認定審査会条例第 6 条に基づき、これより会議の進行を、会長  
にお願いしたいと思います。  
松本会長、よろしくお願いいたします。

#### 【会長】

はい、ご指名をいただきましたので次第に沿って議事を進めて参ります。  
委員の皆様、議事進行にご協力を宜しく申し上げます。  
まず、次第1「令和7年度 事業報告」について、事務局から説明をお願いします。

#### 【事務局】

はい、事務局の河野です。座ってご説明させていただきます。  
それでは、令和7年度の事業についてご報告いたします。資料2ページ「令和7年度事業実績報告」をご覧ください。

まず「令和7年度のブランド認定」につきまして、株式会社プロシーズの「中山栗の甘煮」、株式会社プロシーズの「中山栗ジャム」、株式会社オカベの「愛媛県産みかんふりかけ」の3品を新規に認定しております。

また、更新については、資料ご記載のとおり19品更新を行っております。  
昨年度「認定取消」となった品が、株式会社オカベのしらすぞうすいシリーズ1品ございました。現在のブランド認定品は合計42品となっております。

次に、「ますます、いよし。ブランド認定品支援事業費補助金」の実績について、ご報告いたします。

資料3ページをご覧ください。この補助金は、ブランド認定品の販路拡大や商品包装改良、情報発信など、ブランド品を広く宣伝・販売する取組に対し、市が予算の範囲内で補助するものでございます。

令和7年度は、株式会社オカベ、家具屋アカトシロ、株式会社共栄木材の販路拡大に要する経費が3件、株式会社豆愛の商品包装改良に要する経費が1件、唐川びわ葉茶生産研究会の情報発信に要する経費が1件、合計5つの事業者に対し、合計50万円を補助いたしました。

続きまして、ブランド品のPR活動について、ご報告致します。

昨年度、関係人口の創出を図るための施策としてファンミーティングを東京都で2回開催いたしました。このイベントにおいて、ブランド認定品を使用した料理の提供を行い、SNS等での開催報告等による情報発信等を行ったことにより、「ブランド認定品」の認知度向上と、ふるさと納税にもつながる取組になったと考えております。

また、ブランド認定品パンフレット等を更新し、ふるさと納税返礼品と合わせて、全国にPRすることで新規販路開拓にも繋がりました。

次に、資料3ページ下段「イベント等への出店」につきましては、昨年9月と10月に実施しました、DCM株式会社様との協働事業である「ふるさと特産品フェア」に併せ、ブランド認定証の授与式を実施することで、市内外へブランド品及び取組についてPRすることができました。

また、11月には令和6年度に引き続き、東京都の港区との連携事業による「認定品フェア」を実施いたしました。たくさんの方にご来場いただき、多数のブランド認定品が完売するなど好評をいただきました。

この「全国連携」の取組みを通して、伊予市のブランド認定品の認知度の向上と、認定品を軸にした関係人口、交流人口の創出に繋がったものと思っております。

なお、資料4ページ、5ページには、記録写真等を載せていますので、ご確認いただければと思います。以上で、令和7年度の事業報告を終わります。

#### 【会長】

それでは、「令和7年度 事業報告」について、ご意見やご質問があればお願いいたします。

#### 【委員】

2ページ目の更新の品のところで、ブランド品の事業者名の記載が・・・

【事務局】

大変申し訳ございません。記載に誤りがございました。

【課長】

申し訳ございませんでした。

【会長】

他に何かご意見やご質問はございますか。無いようですので次に行きたいと思えます。

次第2 令和8年度「ますます、いよし。ブランド」認定事業(案)及びその他の事項について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは、令和8年度のブランド認定事業(案)について、ご説明いたします。

資料6ページと別紙ブランド認定品募集チラシも併せてご覧ください。

今年度の「募集期間」は、6月1日～7月31日までの2か月間とし、市ホームページや、公式SNS、広報いよし、募集チラシ等で周知するほか、伊予商工会議所、双海中山商工会を通じて、募集チラシを配布させていただき予定にしております。

また、令和5年度に「認定」及び「更新」をされた事業者は、更新時期となりますので、併せて案内を行います。

続きまして、「ブランド認定事業の拡充・PR活動」について、でございますが、食品だけではなく、工芸品など更なるブランド認定品の増加を目指し、引続き、ふるさと納税の担当者と連携し、積極的な営業活動を行うことで、新たな視点からのブランド品の開拓にも努めたいと考えております。

また、今年度も、DCM株式会社様でのフェアや、東京都港区の「札ノ辻スクエア」など、県内外でのフェア、イベント等において、パンフレットの活用をはじめ、SNS を活用した情報発信を行うことで、ブランド品の紹介に加え、シティプロモーションにもつなげて参りたいと思っております。

なお、例年、好評でありますDCM株式会社 様との連携による特産品フェアなどの実施は勿論、認定事業者への助成、SNS や令和5年度に立ち上げましたシティプロモーションサイトの活用により、ブランド認定事業者と一体となって、市内外へ認定品のPRを行って参りたいと考えております。

続きまして、資料7ページをご覧ください。

ブランド認定の「審査基準」につきましては、今年度も昨年度と同様の基準で実施したいと考えております。

委員の皆様には、「伊予市ブランド認定制度実施要綱」第4条に定める審査基準に沿い、アからオの各項目について1～5点で採点して頂き、係数を乗じ、100点満点中 全員が70点以上をつけた製品について認定を致します。

なお、1人でも 70点未満をつけた製品については、改めて審議を行い、認定の可否を決定致します。

今年度の認定までの「スケジュール」につきましては、7月31日で募集を締め切った後、8月中旬から下旬頃に「第2回ブランド認定審査会」を開催させて頂きたいと考えておりますので、委員の皆様には宜しくお願い致します。

その審議会において、新規・更新の各申請について、申請内容や製品の確認、試食等により認定の可否を決定頂き、認定された商品につきましては、先にご説明致しました、ブランド認定証の授与式を9月下旬頃に実施し、併せてプレス発表を行いたいと考えております。

資料8ページをご覧ください。

その他といたしまして、各種、物産フェアや、産業まつり等、物販を伴うイベント等につきましては、「伊予市観光物産協会(ソレイヨ)」と、密に連携し、今後もブランド認定品のPRを行

って参りますので、引き続き、ご支援を賜ります様、お願い致します。

なお、今年度の DCM フェアにつきましては、例年どおり伊予市観光物産協会(ソレイヨ)と連携し、実施する予定としております。

以上で、説明を終わります。

【会長】

それでは、先ほどご説明があった「令和8年度 事業計画」(案)及びその他の事項について、ご意見やご質問があればお願いいたします。

弘田委員何かございませんでしょうか。

【委員】

はい。大丈夫です。

【会長】

友澤委員何かございませんでしょうか。

【委員】

はい。特に無いです。

【会長】

武内委員何かございませんでしょうか。

【委員】

はい、東京都のフェアの主催は伊予市ですか？これは各事業所から商品を買って売っているのでしょうか。それとも預かった物を売って、売れ残ったものは返品しているのでしょうか。

【事務局】

フェアは商品を買って売っていると聞いています。

※修正：商品の賞味期限等を考慮して買取と委託販売の両方で行っています。

【委員】

分かりました。事業者が行っているのではなく、市職員がフェアに行っているのでしょうか。

【事務局】

はい、市職員と委託先のソレイヨの職員が行っています。

【委員】

分かりました。

【会長】

以前、パラグライダーのような体験型のサービスもブランド対象に含めないか話しをしたことがあるのですが、次の展開を考えるのであればそういったものも含めていても良いと思います。

【委員】

双海町に米ぬか酵素風呂まるさんというところがあるのですが、自分たちでお米を作っていて、その米ぬかを酵素風呂に使っているのです、ブランドとして認定できればいいなと思いま

す。酵素パックのようなものはふるさと納税返礼品となっていたと思いますが、体験事業は無いのでブランド認定が出来ればいいんじゃないかなと思います。

**【企画振興部長】**

ふるさと納税の方は地域創生課の方で担当していますが、そういった体験型もふるさと納税の内容として、今後増やしていければいいなと思っております。

**【会長】**

今後の課題の一つとしてご検討いただければと思います。  
最後に、事務局より連絡事項などありましたらお願いします。

**【事務局】**

先の説明にもございましたが、8月に予定しております「第2回ブランド認定審査会」の日程につきましては、会場の都合などから、お手元にお配りしております「日程調整票」のとおりとなっております。

もし全日程のご都合が今お分かりになる場合は、本日の審査会終了後、日程調整票をいただければと思います。

なお、ご不明な場合は、用紙をお持ち帰りいただき、5月29日(金)までにFAX、郵送、E-mailにて、お知らせ頂きます様お願いいたします。以上です。

**【会長】**

以上で、本日の審議は全て終了致しました。長時間にわたり適切なお審議を頂き、誠にありがとうございました。委員各位のご協力に感謝を申し上げ、議長の任を解かせて頂きます。  
ありがとうございました。

**【事務局】**

松本会長、ありがとうございました。

以上をもちまして「令和8年度 第1回 伊予市ブランド認定審査会」を閉会させていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。みなさま、お気をつけてお帰り下さい。